

- 1 実施日時 令和5年9月29日（金）
- 2 実施学年 第3学年
- 3 実施教科 理科
- 4 単元名 「動物のすみか」
- 5 学習の流れ



四小ではどのような動物がどこでよく見られるか調べよう

- 1 学年全体で作成した四小で見られる動物の記録をもとにどのような動物がどこでよく見られるかをまとめる。
- 2 まとめたことをもとに気付いたことや考えたことを共有する。

6 Chromebook の活用

- 学年全体で作成した四小で見られる動物の記録を chromebook に取り込んだ。
- コラボノート EX で取り込んだ記録を含む資料を作成し、児童に提示した。

7 児童・生徒の様子

提示された資料を見て、すぐに「トンボが芝生で見られる」や、「セミは遊具の周りで見られる」など見て分かることをまとめだすことができ、カラーで提示できていることの良さが表れていた。また、画面を拡大することで、「数は少ないけどカマキリも校舎裏にいる」など、より細かく資料を読み取ることができた。

およそのことは chromebook で判断し、どうしても見づらい部分は黒板に掲示している実物の記録を見ることで、掲示した記録に人が集まることなくスムーズにまとめることができていた。

まとめたことをもとに、「動物によってよく見られる場所がちがう。」という意見が挙がり、その理由を調べるという新たな学習問題が生まれた。

8 振り返り

観察記録として作成した動物マップは1枚の模造紙に色分けしたシールが貼られていた。その結果を共有するにあたって chromebook を活用したことで、一つの資料に大勢が集まることなく学習することができた。また、カラー印刷をすることなく一人一人にそのままの色合いの記録を提示することができ、教材準備の時間短縮につながった。さらに、画面を操作し資料をアップにすることができるので、より効果的に資料を活用することもできた。一方で、実物より色が見づらい部分があったので、活動目的に応じて実物との使い分けを考える必要がある。



拡大・縮小可能

